



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL http://www.euglena.jp/
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）出雲 充
 問合せ先責任者（役職名）取締役副社長（氏名）永田 暁彦（TEL）03(3454)4907
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績（2019年10月1日～2019年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	3,219	△6.2	△244	—	△216	—	△252	—
2019年9月期第1四半期	3,431	△0.5	△6,457	—	△6,421	—	△6,494	—

（注）包括利益 2020年9月期第1四半期 △251百万円（－％） 2019年9月期第1四半期 △6,496百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	△2.72	—
2019年9月期第1四半期	△73.20	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	16,208	10,583	65.1
2019年9月期	17,199	10,834	62.9

（参考）自己資本 2020年9月期第1四半期 10,559百万円 2019年9月期 10,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	△4.8	△1,200	—	△850	—	△900	—	△9.69

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	92,928,322株	2019年9月期	92,928,322株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	89,749株	2019年9月期	89,749株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	92,838,573株	2019年9月期1Q	88,729,530株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度は、ヘルスケア事業においては、セグメント損益は引き続き黒字維持を見込む一方で、広告宣伝投資の比重を、これまで注力してきた直販事業における新規顧客獲得施策から、素材認知拡大や企業ブランディングなどのマーケティング施策にシフトしていく方針であり、このためセグメント売上高は減少を見込んでおります。また、エネルギー・環境事業においては、2018年10月に竣工したバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラント（以下「実証プラント」）の本格稼働、そしてバイオジェット燃料による有償フライトの実現に向けた取組みにより、セグメント損益は赤字が継続する見込みです。以上の結果、当連結会計年度の通期業績予想は、売上高は前期比で減少を見込むとともに、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する純損益のいずれも赤字を見込んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、概ね計画どおりの進捗であり、ヘルスケア事業において新規顧客獲得のための広告宣伝投資の見直しに着手した結果、売上高は3,219,103千円（前年同期比6.2%減）となりました。また、エネルギー・環境事業において実証プラントの本格稼働に向けた準備を進めていることで、同事業のセグメント損失170,672千円を計上しており、営業損失は244,341千円（前年同期は営業損失6,457,937千円）、経常損失は216,393千円（前年同期は経常損失6,421,739千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は252,537千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6,494,998千円）となりました。

前第1四半期連結会計期間から当第1四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は以下のとおりです。

	前第1四半期 連結会計期間	前第2四半期 連結会計期間	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間
売上高（千円）	3,431,718	3,487,407	3,526,338	3,522,207	3,219,103
営業損益（千円）	△6,457,937	△65,955	△184,041	△752,209	△244,341
経常損益（千円）	△6,421,739	65,662	△2,692	△714,655	△216,393

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業においては、減少基調が継続しているユグレナ食品領域を重点強化領域と位置づけ、短期的な売上成長・利益確保は追求せず、ユグレナ食品の素材プロモーション、企業／素材／商品ブランド間の連携強化、事業基盤整備等に投資比重をシフトすることで、持続的な成長を目指しております。

当第1四半期連結累計期間は、期初の計画どおり、新規顧客獲得のための広告宣伝投資の見直しに着手するとともに、中長期的な事業成長に必要な素材認知と企業ブランドの確立に向けたマーケティング施策の準備、並びにCRM強化やデジタルマーケティングの活用などの事業基盤の整備に努めてまいりました。

以上の結果、セグメント売上高3,219,103千円（前年同期比5.4%減）、セグメント利益は171,565千円（前年同期比41.5%減）となりました。

(エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット・ディーゼル燃料開発を中心に、2018年10月に竣工した実証プラントの本格稼働に向けた準備を進めております。研究開発活動については、2019年11月に、伊藤忠商事株式会社とともに、バイオ燃料用と飼料用の微細藻類ミドリムシの海外培養実証事業を、インドネシア共和国に続き、コロンビア共和国においても開始しました。また、三重県多気郡多気町において、燃料用微細藻類の大規模、低コスト生産技術の確立を目指す研究開発活動を実施しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、セグメント売上高はなく（前年同期はセグメント売上高27,157千円）、実証プラントの本格稼働に向けた準備費用の計上等により、セグメント損失170,672千円（前年同期はセグメント損失6,504,388千円）となりました。なお、前年同期は実証プラントの建設費用6,370,841千円を研究開発費として全額費用計上しており、前年同期比において、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失は縮小しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は16,208,355千円となり、前連結会計年度末と比較して991,093千円の減少となりました。

負債は、主に未払金及び未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末から739,847千円減少し、5,625,220千円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、前連結会計年度末から251,245千円減少し、10,583,134千円となりました。この結果、自己資本比率は65.1%となりました。

当連結会計年度は、ヘルスケア事業において、新規顧客獲得のための広告宣伝投資の見直しに伴う売上高の減少を見込む一方で、エネルギー・環境事業において、実証プラントの本格稼働に伴う運転資金の支出が予定されておりますが、十分な手元資金を確保していることから事業の進捗に重要な影響はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度につきましては、ヘルスケア事業においては、セグメント損益は引き続き黒字維持を見込む一方で、広告宣伝投資の比重を、これまで注力してきた直販事業における新規顧客獲得施策から、素材認知拡大や企業ブランディングなどのマーケティング施策にシフトしていく方針です。このためセグメント売上高は減少を見込むものの、中長期的な事業成長に必要な素材認知と企業ブランドの確立、ならびにCRM強化やデジタルマーケティングの活用などの事業基盤の整備を進めることで、2021年9月期以降の持続的な売上成長につなげてまいります。エネルギー・環境事業においては、実証プラントの本格稼働、そしてバイオジェット燃料による有償フライトの実現に向けた取組みにより、セグメント損益は赤字が継続する見込みです。

以上の結果、売上高13,300百万円（前期比4.8%減）、営業損失1,200百万円（前期は営業損失7,460百万円）、経常損失850百万円（前期は経常損失7,073百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失900百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失9,798百万円）となる見込みです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,832,985	6,925,444
受取手形及び売掛金	1,078,143	1,042,559
商品及び製品	1,110,256	1,072,238
仕掛品	53,343	67,721
原材料及び貯蔵品	874,341	974,422
その他	242,810	388,788
貸倒引当金	△8,556	△8,346
流動資産合計	11,183,325	10,462,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,035,798	3,040,456
機械装置及び運搬具	1,434,113	1,445,776
工具、器具及び備品	384,956	385,987
土地	900,520	900,520
リース資産	28,201	25,946
建設仮勘定	6,967	6,498
減価償却累計額	△2,200,734	△2,287,530
有形固定資産合計	3,589,824	3,517,654
無形固定資産		
のれん	1,112,546	1,074,719
その他	536,085	511,169
無形固定資産合計	1,648,632	1,585,889
投資その他の資産		
投資有価証券	430,788	310,550
差入保証金	254,988	253,980
繰延税金資産	14,977	461
その他	76,911	76,990
投資その他の資産合計	777,665	641,983
固定資産合計	6,016,122	5,745,526
資産合計	17,199,448	16,208,355

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	379,734	381,990
短期借入金	470,843	470,289
未払金	939,644	687,138
リース債務	647	476
未払法人税等	241,886	43,556
賞与引当金	39,760	18,782
ポイント引当金	43,236	33,991
その他	354,257	290,222
流動負債合計	2,470,008	1,926,446
固定負債		
長期借入金	3,190,385	3,091,447
リース債務	315	243
退職給付に係る負債	16,168	15,998
資産除去債務	410,280	410,305
繰延税金負債	272,874	176,088
その他	5,035	4,690
固定負債合計	3,895,059	3,698,773
負債合計	6,365,067	5,625,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,318,148	7,318,148
資本剰余金	11,880,107	2,224,243
利益剰余金	△8,224,708	1,178,617
自己株式	△150,597	△150,597
株主資本合計	10,822,948	10,570,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,374	△1,183
為替換算調整勘定	△10,143	△9,537
その他の包括利益累計額合計	△11,517	△10,721
新株予約権	15,219	15,219
非支配株主持分	7,730	8,226
純資産合計	10,834,380	10,583,134
負債純資産合計	17,199,448	16,208,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,431,718	3,219,103
売上原価	858,332	877,542
売上総利益	2,573,385	2,341,560
販売費及び一般管理費	9,031,322	2,585,902
営業損失(△)	△6,457,937	△244,341
営業外収益		
受取利息	328	53
為替差益	—	3,507
助成金収入	18,275	29,790
受取手数料	6,000	7,000
持分法による投資利益	6,270	—
その他	10,367	8,958
営業外収益合計	41,242	49,309
営業外費用		
支払利息	2,884	3,211
持分法による投資損失	—	18,149
その他	2,160	0
営業外費用合計	5,045	21,361
経常損失(△)	△6,421,739	△216,393
特別利益		
固定資産売却益	64	—
特別利益合計	64	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,421,675	△216,393
法人税、住民税及び事業税	76,340	117,327
法人税等調整額	1,749	△82,363
法人税等合計	78,090	34,963
四半期純損失(△)	△6,499,765	△251,357
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,766	1,179
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,494,998	△252,537

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△6,499,765	△251,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△535	190
為替換算調整勘定	3,961	△994
持分法適用会社に対する持分相当額	—	916
その他の包括利益合計	3,426	112
四半期包括利益	△6,496,339	△251,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,493,604	△251,741
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,734	495

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年12月20日開催の第15期定時株主総会において、欠損補填を目的とする資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議し、2019年12月20日を効力発生日として資本準備金9,655,863千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えました。

また、会社法第452条規定に基づき、その他資本剰余金9,655,863千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損補填いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本準備金2,224,243千円、利益剰余金1,178,617千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,404,560	27,157	3,431,718	—	3,431,718
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,404,560	27,157	3,431,718	—	3,431,718
セグメント利益又は損失(△)	293,503	△6,504,388	△6,210,885	△247,051	△6,457,937

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△247,051千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,219,103	—	3,219,103	—	3,219,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,219,103	—	3,219,103	—	3,219,103
セグメント利益又は損失(△)	171,565	△170,672	893	△245,235	△244,341

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△245,235千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。